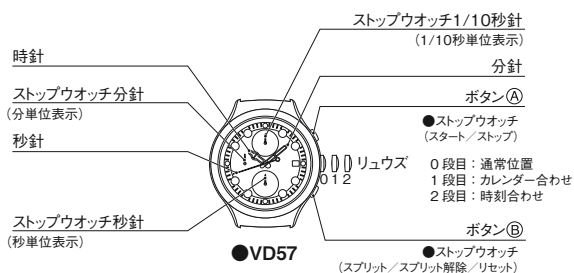
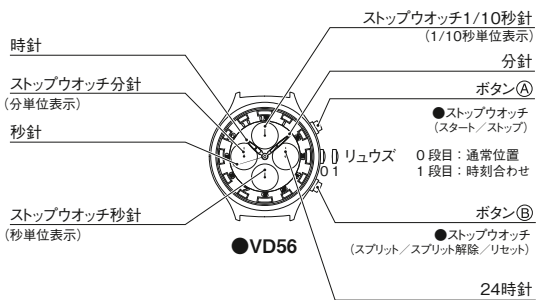
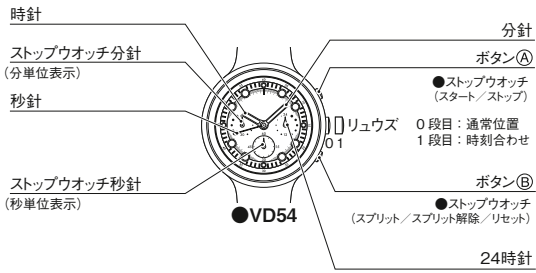


1. 各部の名称とはたらき

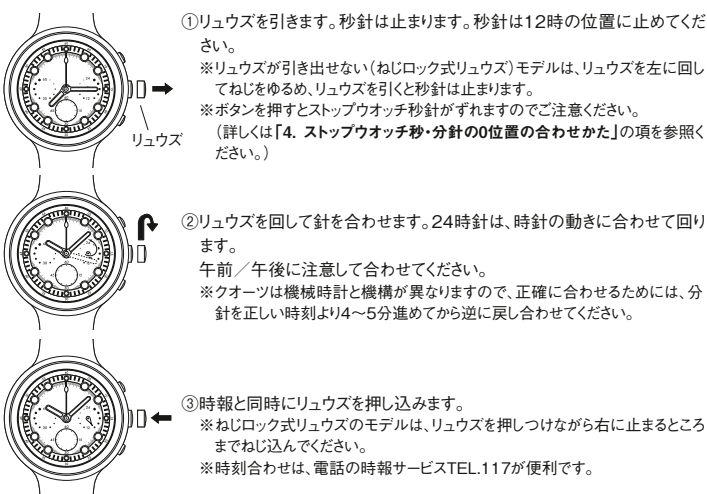


※ストップウォッチは、時刻とは別に独立して計測します。  
※ストップウォッチ1/10秒針は最初の1分間のみ運針します。1分以降はストップしたときのみ1/10秒単位を表示します。

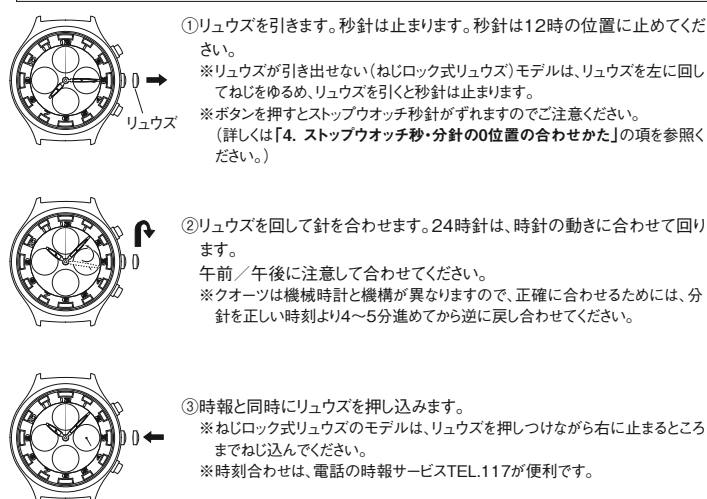
2. 時刻・日付の合わせかた

※時刻合わせの前に、ストップウォッチ1/10秒・秒・分針が0位置(12時位置)に合っているか確認してください。もし、0位置からずれているときは、「4. ストップウォッチ秒・分針の0位置の合わせかた」をご覧ください。  
※時刻を合わせるときは、必ずストップウォッチを止めてから行ってください。

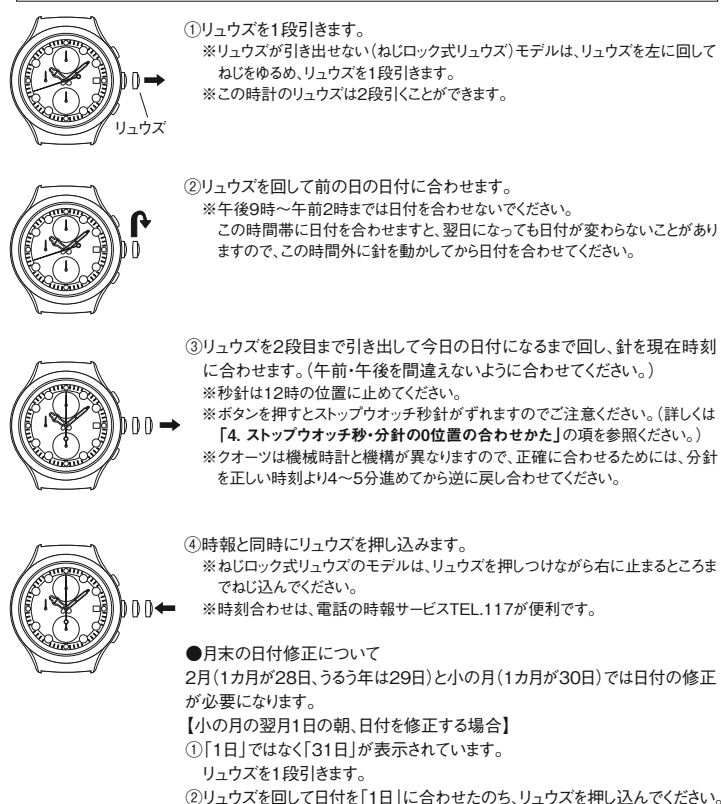
●VD54



●VD56



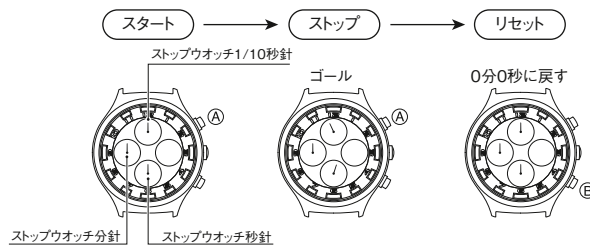
●VD57



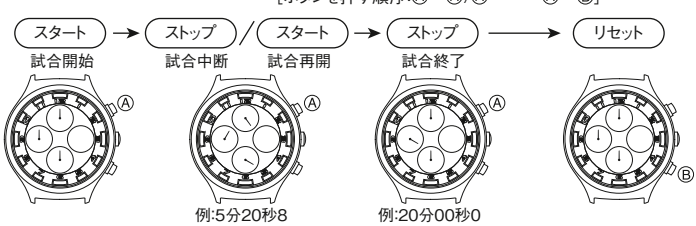
3. ストップウォッチの使いかた

- ストップウォッチは、時刻とは別に独立して計測します。
- 1/10秒単位の計測ができる60分計です。

普通の使いかた 例:100メートル走 [ボタンを押す順序: (A)→(A)→(B)]

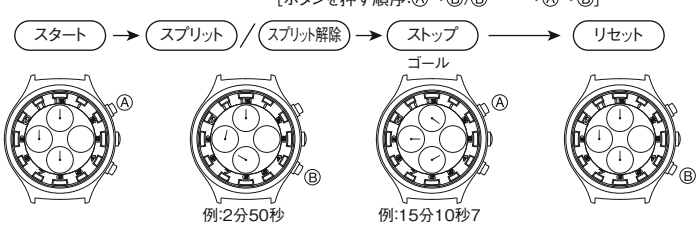


時間計測を積算で行うとき 例:バスケットボール [ボタンを押す順序: (A)→(A)/(A)→(A)→(B)]



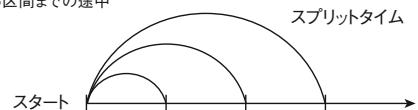
※途中のスタート/ストップは、何回でも繰り返すことができます。

スプリット計測を行うとき 例:5,000メートル走 [ボタンを押す順序: (A)→(B)/(B)→(A)→(B)]



※途中のスプリット/スプリット解除は、何回でも繰り返すことができます。

※スプリットタイムとは、スタートからある区間までの途中経過時間を指します。



4. ストップウォッチ秒・分針の0位置の合わせかた

電池を交換した後は、時計内のICメモリー情報とストップウォッチ1/10秒・秒・分針の表示位置が一致しなくなりますので、次の手順にそって合わせてください。  
また、ストップウォッチが正常に働かないなど異常がみられたときも、同様に行ってください。

